

## 『道路工事における周辺環境への配慮』

工事名：令和 6 年度 沼津維持管内維持修繕工事

地 区 名 三島地区

会 社 名 山本建設株式会社

主執筆者 斎藤 亮輔（現場代理人）

技術者番号 339617

### 1. はじめに

本工事は、国道 1 号線（102.65kp～135k81kp 延長 L=33.16km 田方郡函南町桑原～沼津市植田）、国道 246 号（119.12kp～124.62kp 延長 L=5.5km 駿東郡長泉町南一色～沼津市大岡）に於いて、道路異常や落下物回収等の道路の維持管理を目的とした工事である。

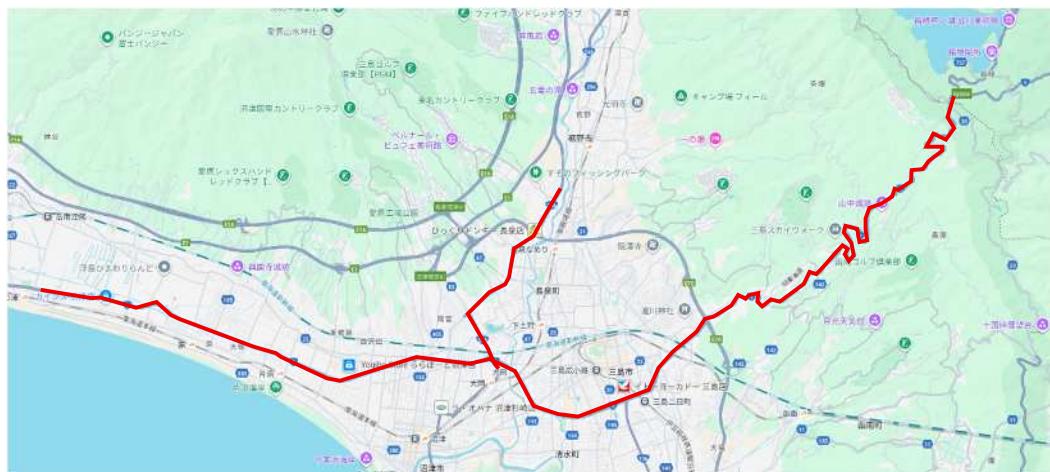
工 事 名 令和 6 年度 沼津維持管内維持修繕工事

発 注 者 国土交通省中部地方整備局沼津河川国道事務所

工事箇所 沼津国道維持管内（田方郡函南町桑原～沼津市植田・駿東郡長泉町南一色～沼津市大岡）

工 期 令和 6 年 9 月 17 日～令和 8 月 9 月 30 日

工事内容 補装工 1 式、排水構造物工 1 式、道路付属施設工 1 式、道路構造物修繕工 1 式  
橋梁付属物工 1 式、構造物撤去工 1 式、縁石工 1 式、防護柵工 1 式、区画線工  
1 式、標識工 1 式、道路清掃工 1 式、植栽維持工 1 式、除草工 1 式、除雪工  
(102.65kp～117.7kp) 1 式、応急処理工 1 式、巡視・巡回工 1 式、その他監督職  
員の指示による作業



### 2. 現場における問題点・課題

今回対象とした工事箇所は、国道 246 号の舗装の老朽化に伴う維持修繕として欠損部補修を行うにあたり、現場周辺は国道 246 号上石田 IC から国道 1 号へ合流部であり

昼間施工では交通渋滞を発生させる可能性がある。夜間施工にすることによって交通量も減り交通渋滞が発生する可能性は極めて少なくなるため夜間の施工になった。

ここでは、当工事における問題点及び課題を記載する。

① 重機の選定及び工事施工箇所周辺の住宅地・店舗に対する騒音対策。

- ・従来はバックホウと大型ブレーカー併用による作業となるが、既設舗装厚が 25 cm以上あると予想されるなかで表層工 5 cmだけの部分的な取壊しは繊細な作業であるため時間を要すると考えられる為、容易な作業が不可能であると考えられた。
- ・施工箇所周辺は住宅地及び東海道新幹線の高架下での施工で音が反響し普段以上に騒音が出てしまう可能性があったため、舗装版取壊し及び舗設時のローラ等の重機の騒音を抑える対策が必須となった。

② 周辺環境への配慮。

- ・住民、道路利用者への対応として、工事予告看板の設置はもちろんのこと工事案内チラシを各住宅、店舗を個別に挨拶に伺い対面で工事の周知をする必要があった。

### 3. 対応策

前述の課題に対し、以下の対策を講じた。

① 重機の選定及び工事施工箇所周辺の住宅地・店舗に対する騒音対策。

- ・バックホウと大型ブレーカー併用による舗装版取壊しから小型路面切削機に変更した。小型路面切削機を使用することにより設計以上に取壊しすることなく厚みを確保することができ舗装版取壊しを容易に施工することができ日々の施工量を増やすことができる。
- ・騒音が出る時間を減らすため小型路面切削機を使用したことにより短時間で舗装版取壊しを行うことができた。また路面切削時、舗設時の騒音を減らすため防音パネルを設置し機械稼働時は防音パネルを移動し音の反響を減らした。



写真-1 小型路面切削機使用及び防音パネル設置状況

② 周辺環境への配慮。

- ・事前に工事回覧チラシの範囲を定め、工事期間及び工事時間に明記した案内を各住宅

近隣店舗に個別に挨拶に伺い、対面で工事説明及び工事回覧の配布を実施し、近隣住民及び近隣店舗の理解を得ることで、円滑な施工を実施した。また、工事説明の案内時に住民及び近隣店舗からの不安や疑問に丁寧に耳を傾け、細かい対応を心掛けた。



図-1 工事回覧配布範囲及び工事回覧チラシ

#### 4. 結果

上記の対策の結果、従来の施工では 1 日の施工量が少なく並びに騒音の発生時間が長時間発生してしまうが、小型路面切削機での施工に変更したことによって 1 日の施工量が増加し、かつ騒音発生時間を短縮することができた。また、施工スピードが上がった為、交通規制時間も短くなり交通渋滞の発生も抑制することができた。

周辺環境への配慮も事前に騒音等が多少なりとも出てしまうと案内していたが思った以上に騒音が小さい・発生時間が短時間となり生活に支障がない程度の騒音だった為、工事に対する住民の皆様の協力を得ることができ、「苦情ゼロ」で施工を完了することができた。

#### 5. おわりに

本工事は、住宅地や店舗が隣接していて夜間時にいかに騒音対策を講じて住民の生活を考慮して作業するかが最重要課題であったが、対策を講じること、さらには元請職員ならびに下請業者、交通誘導員に周知徹底して騒音対策を実施することができ良かった。

また、近隣住民の方々の工事への協力・理解もあり無事に工事を完了することができ

た。

今後も維持修繕工事は国道1号、国道246号での住宅地、店舗が隣接している箇所での施工箇所がある為、隣接している住宅地、店舗の皆様に協力して工事が成り立っていると思うので、地域住民への配慮・コミュニケーションを密に取り合い工事をすることが重要で、とても良い経験ができた。

今後も工事の中で常に考え、施工方法・周辺環境への対策を高め、より良い現場管理をできるよう努力していきたい。